

進級制作における 産学連携授業

学科

グラフィックデザイン科

カテゴリ

産学連携

グラフィックデザイン科では、デザイン業界の実際のワークフローに沿って制作を進める、産学連携授業「進級制作」を実施。クライアント企業からの課題提示を受け、企業への接し方にはじまり、調査から企画立案、デザイン、プレゼンテーションまで、一連の制作工程を体験することで、デザイナーに必要なスキルを着実に身につける。

「進級制作」は約5ヶ月にわたる長期的な授業となっており、クライアント企業とのミーティングは月1回程度実施。企画案発表会や中間発表会など、段階的に企業からの評価とアドバイスを受けることで、改善点と目標点を明確化し、実際に商品化できるレベルまで作品を成長させる。クライアント視点とユーザ視点の双方から思考し、課題に対してデザインでどう応え得るかを、限られた時間の中で試行錯誤する経験は、デザインソフトの操作を習得するだけでは得られない学びとなる。

そして、2年間の集大成として取り組む「卒業制作」では、これまでの学習成果を存分に発揮し、得意分野を活かした思い思いのテーマで作品を制作。

「進級・卒業制作展」で展示される個性豊かな作品たちは「グラフィックデザイナーが、社会と人をつなぎ、魅力ある生活に変えていく」ということを体現しているようだ。



来場者にプレゼンテーションする学生



デザイン会社との産学連携授業の様子